

## 研究課題名「膵癌患者における術前化学療法を行う前の筋肉量が治療効果に与える影響」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010年4月1日から2020年9月30日までの間に、当院の消化器外科にて膵癌の診断にて術前化学療法を行った方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

近年、膵癌患者に対して、腫瘍の縮小効果を目的に、術前から化学療法が行われるようになりました。しかしながら、術前化学療法の治療効果は患者毎で異なり、現在のところ腫瘍の縮小効果を予測する効果的な指標は存在しません。一方で、手術前の筋肉量は、術後合併症や生命予後に関わることが報告されており、注目されている指標の一つです。術前化学療法を行う前の筋肉量が、治療効果を予測することができれば、最適な治療選択の臨床的意思決定の一助になる可能性があります。そこで、本研究では、膵癌患者の術前化学療法を行う前の筋肉量が、腫瘍縮小効果と関連するかどうかを検討することを目的とします。

方法は、2010年4月1日から2020年9月30日までの間に、当院の消化器外科にて膵癌の診断にて術前化学療法を行った方を対象とし、診療録より情報を収集します。

研究期間：実施承認日～2026年3月31日とする

倫理的事項：研究責任者（横山幸浩）は株式会社ヤクルトの資金提供による寄附講座に所属するため、同社と利益相反の関係にありますが、同社は本研究の内容・実施に一切関連はありません。また、寄附講座所属以外の利益相反状態にない研究者も含め実施されることから、恣意的に同社に有利な研究結果へ導かれることはありません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下の情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患、疾患重症度、入院期間、転帰先、生存期間、検査データ（血液、CT、病理検査など）、治療内容（使用薬剤、投与量、投与期間など）、化学療法による有害事象、身体機能（筋肉量、筋力、6分間歩行距離など）など。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 中島裕貴

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687

FAX 番号：052-744-2688

e-mail: nkjmx1121@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 外科周術期管理学寄附講座

(名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一)

寄附講座教授 横山幸浩